

整地・運搬・積込み用機械を起因物とする激突されの死亡災害発生事例（1999-2021年）

発生年	発生月	時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
2021	1	22 ～ 24	集落の除雪を行うため、トラクター・ショベルを駐車している私有地に到着したものの、積雪が50cmのため社有車を駐車することができなかったことから、トラクター・ショベルを使用して私有地の除雪を行い、最後に私有地の出入口付近を除雪するため後進してきたトラクター・ショベルに、何らかの理由で後方にいた被災者がひかれたもの。	30199	50 ～ 99
2021	2	14 ～ 16	事業場内において、作業員が運転するトラクター・ショベルが石状の原料を計量ホッパーに投入するため後退したところ、その後ろにいたフォークリフトに接触し、フォークリフトが横転したことにより、フォークリフトの運転者がフォークリフトの下敷きになったもの。	10909	30 ～ 49
2021	7	8 ～ 10	被災者はビル解体工事現場の地下3階で敷き鉄板の清掃作業に従事していたが、別の作業場所へ移動するため、コンクリートガラの山を徒歩で通過していた。一方、テレスコラムはそのコンクリートガラを掘削するため、アームを地下3階へ下げたところ、被災者はそのバケットに激突されたもの。多発性外傷で死亡が確認された。	30201	1～ 9
2021	11	18 ～ 20	産業廃棄物中間処理施設の汚泥ピット付近において、10トンダンプの洗車作業を行っていたところ、後進中のトラクター・ショベルに轢かれた。	150102	10 ～ 29
2020	2	2 ～ 4	アスファルトプラントに資材を引き取りに行き、ダンプトラックから事務所受付に行くため歩行中に、労働者が運転するバケットに資材を積み込んだ車両系建設機械（トラクターショベル）に轢かれて死亡したもの。	30110	1～ 9

2020	4	10 ～ 12	砂利選別プラントの敷地内において死亡している被災労働者が発見されたもの。被災労働者は、工場長とともに重機の修理作業を行っており、敷地内にある休憩室に一人で部品等を取りに行くために歩いて移動していたところ、同僚の労働者が運転するトラクター・ショベルに轢かれたものとみられる。同僚の労働者はトラクター・ショベルで砂利をホッパーへ投入する作業を行っていた。	20202	10 ～ 29
2019	1	2 ～ 4	被災者は、船倉で壁の石炭をかき落としていたところ、後退してきたブル・ドーザーに激突され、死亡した。	50202	10 ～ 29
2019	2	12 ～ 14	林道開設作業において、掘削作業箇所の立木の根が浮いた状態であったため、前方（木を倒す方向）の確認を行い、油圧ショベルのバケットで押して倒したところ、被災者に倒した木があたり死亡したものの。	60201	30 ～ 49
2019	8	14 ～ 16	工場（屋内）において、機体重量3トン以上のホイールローダーで、丸太（直径36～40cm、長さ3～4m、約20本）を運んでいたところ、工場内を歩いていた被災者をひき、死亡させたもの。	10401	50 ～ 99
2019	11	12 ～ 14	一般家屋解体工事現場において、庭石をアームロール車へ積込作業を行っていた際に、0.3tから0.4tの庭石を高さ約2mの位置から荷台へ落下させたことで、荷台後方の扉が押し開いて、近くで交通誘導を行っていた被災者に激突した。被災者は搬送先病院にて同日死亡した。	30209	10 ～ 29
2019	12	8 ～ 10	可燃ごみを廃棄物処分場に持込み、廃棄作業を行っていた労働者が、廃棄物処分場の労働者が運転するドラグ・ショベルに轢かれたもの。ドラグ・ショベルにはバックモニターが設置しており、運転手は後方にいた被災者に気づいていたが、被災者と距離があると思い後退させた。	150103	30 ～ 49
2018	1	10 ～ 11	基地において、当該事業場の労働者Aがトラクター・ショベルを用いて、基地内で掘削した土砂等の運搬作業をしていたところ、車両誘導作業をしていた被災者に気づかず後進したためトラクター・ショベルの右側後輪に接触し、巻き込まれたもの。なお、被災者は、入院により継続治療を行っていたが、後日死亡したものの。	150102	10 ～ 29

2018	2	8 ～ 9	資材置場の地ならし作業をしていたドラグショベルが後退したところ、後ろにいた被災者の左足に激突した。その後病院に搬送されたものの、後日死亡が確認されたもの。	30199	1～ 9
2018	7	12 ～ 13	被災者は客先の牧場敷地内において自走できる給餌機を修理後、牛舎に戻すため給餌機を運転して敷地内道路を移動していたところ、バケットを上昇させたまま走行してきたトラクター・ショベルに激突され、給餌機の機械操作レバーに頭部が刺さり死亡したもの。なお、トラクター・ショベルの運転者は牧場事業主の親族であった。	80209	10 ～ 29
2017	10	6 ～ 7	作業場に仮置きしてある鋼製の箱（幅61cm、奥行91cm、高さ62cm）に資材を収納するため、事業者がドラグ・ショベルを運転して、玉掛用具によりつり上げて箱を移動させようと、箱の上方にバケットを移動させ、被災者の指示によりバケットを下降させたところ、被災者の頭部にバケットが当たった。なお、被災者は保護帽を着用していなかった。	11209	1～ 9
2017	10	10 ～ 11	機体重量3.65tのブルドーザーを使用して整地作業を行っていた被災者が、整地箇所から農道へ通じる傾斜11°程度の仮設の通路において、当該ブルドーザーのクローラーの下敷きになっているところを発見された。	30109	10 ～ 29
2017	10	8 ～ 9	被災者は、収穫された甜菜を輸送するダンプトラックの運転手である。積み込み先農家の畑内において、他事業場の労働者が運転する専用バケットを装着したホイール式トラクター・ショベルでダンプトラックに甜菜を積み込む作業中、当該ショベルの前方にいた被災者が地面にこぼれ落ちた甜菜を拾おうとしたところ、バケットを下げながら前進してきた当該ショベルのバケットの下敷きとなった。	40301	10 ～ 29
2016	6	14 ～ 15	堆肥回収のため、トラクターショベル（機体重量：5.8t）にて堆肥舎から前方道路に向かって左折し、直進しようとした際、当該道路を堆肥舎へ向かって歩いていた被災者と激突した。	70101	30 ～ 49
2016	12	18 ～ 19	被災者は、除排雪業者の雪捨て場において、ダンプトラックにて雪を運び込み排雪後、ダンプトラックから降車していたところ、雪ならしのため後進してきたトラクターショベル（除排雪業者）の右後方部に激突された。	80409	1～ 9

2016	12	15 ～ 16	バックホーを使用して、現場に運び込まれた盛土を掘削箇所に埋め戻し作業中、手前側の盛土をすくうため、重機を移動させたところ、重機の近くにいた作業員が重機に接触し、轢死した。	30201	1～ 9
2015	12	14 ～ 15	被災者は、トラクター・ショベルのバケットに水300リットル入りのタンクと噴霧機械が入った金属枠を載せて、これをトラックに積み込むためにバケットを持ち上げたところ、機体が前輪を支点にして前のめりになったため、バケットが機体から外れ、その反動で後輪を支点にして前輪が浮き上がり、さらに前輪を支点にして後輪が浮き上がる動作を繰り返す中、被災者が運転席から投げ出され、機体左前輪の下敷きとなったもの。	150102	10 ～ 29
2014	1	11 ～ 12	資材置場にて、船と呼ばれる生コンクリートを入れる鉄製の箱をドラグ・ショベルを使用してトラックに積み込んだ後、ドラグ・ショベルを運転していたところ、トラックの荷台にいた被災者にドラグ・ショベルのバケットが激突した。	30199	10 ～ 29
2014	2	14 ～ 15	産業廃棄物の中間処理を行う事業場敷地内にて、木製の廃材を集積させる為に車両系建設機械（トラクターショベル）を使用していたところ、付近で当該廃材を搬入してきたトラック及びトラクターショベルを誘導していた被災者が、トラクターショベルと激突し死亡した。	150102	1～ 9
2014	8	10 ～ 11	コンクリートブロックをドラグ・ショベルで吊り上げ、ダンプに積み込む作業中、ブロックにワイヤーロープを掛けようとしていた際、被災者が転倒したところ、ドラグ・ショベルの運転手が操作を誤り、バケットとブロックの間に被災者が挟まれ、頭部を負傷し、死亡した。	30199	1～ 9
2014	11	17 ～ 18	ホイールローダーをトラックの荷台に載せるため、トラックの荷台後部に道板を掛け、被災者がホイールローダーを運転し、道板上を後進で上っていたところ、前輪が脱輪したため、ホイールローダーが転倒。被災者は、転倒から逃れようと運転席から離れたが逃げ切れず、被災者はヘッドガード部分の下敷きとなった。	40301	1～ 9
		10	機体重量約17トンのトラクター・ショベルを使用し、長さ約4メートルに		

2013	3	～ 11	切断した木材のカットマスと呼ばれている仮置き場から第一工場まで木材を運び、方向転換しようとしてバックで走っていたところ、作業場にいた被災者に激突した。	10401	300 ～
2013	7	20 ～ 21	被災者は、スラグを積んで走っていたホイールローダーの左前輪に右下半身を轢かれた。尚、被災者が当時何の作業していたのか不明である。	11009	50 ～ 99
2013	11	9 ～ 10	被災者らは、賃貸住宅新築現場において、被災者を含めた4名にて敷地内の低地を水平に均すため、同僚作業員が0.5?のドラグショベルで盛り土をし、被災者が0.2?のドラグショベルの排土板で均す作業を行っていた。その際、被災者が均し作業のためドラグショベルを前進させたところ、同僚労働者が操作するドラグショベルが盛り土をしようと旋回してきたため、そのバケットが被災者の左側頭部に激突した。	30201	1～ 9
2013	7	10 ～ 11	碎石プラント敷地内において、トラクターショベルにより通路の整地作業が行われていた際、その後方を作業員が横断し、後退してきたトラクターショベルに轢かれた。	20201	10 ～ 29
2011	3	8 ～ 7	資材置場において、現場で使用するコンクリート製側溝（高さ約1m、長さ2m、重さ約1t）をドラグ・ショベルを使用してダンプトラックの荷台に積み込む作業を行う際、被災者が2段重ねした側溝の1段目の上に上がり、ワイヤロープに手を掛けているときにつり上げを行ったところ、つり上げた側溝の上部が顎に当たり、1段目の側溝の中央にある開口部から地面に墜落した。	30110	1～ 9
2010	7	8 ～ 9	事業場構内において、社員駐車場から構内事務所に歩いて向かう際、構内にて、協力会社の労働者が運転していたタイヤショベルの運転席の死角になり、バケットに接触して転倒した後、左後輪に下半身を轢かれたもの。搬送先病院にて同日に亡くなったもの。	10901	10 ～ 29
2010	5	14 ～ 15	中型貨物自動車の後部で荷おろし作業中、後退してきたトラクターショベルとの間に挟まれ、死亡した。	30209	10 ～ 29

2010	3	9 ～ 10	被災者は、2 tトラックを運転し、業者へ碎石を購入に行き、トラックを構内に進入させ、業者の労働者が運転するトラクターショベル（車両重量16 t）による碎石の積み込みを終えた。そして、トラックから降りて積み荷の状況を確認していたところ、後方確認不足のまま後退してきた当該トラクターショベルに激突され、トラックとの間に挟まれた。	30199	1～ 9
2009	8	14 ～ 15	2tダンプで採石を積みに行った際、荷台の幌を立てていたところ、後進してきたショベルに激突された。	30110	30 ～ 49
2009	6	14 ～ 15	アスファルトガラを処分するため、3tダンプでアスファルト混合所に入場し、所定の場所へアスファルトガラを搬出後、被災者がダンプから降りて荷台後方で作業していたところ、混合所場内でガラ等の整理作業をしていたトラクター・ショベルがバックしてきて、ダンプ荷台とトラクター・ショベル後部との間にはさまれた。	30106	1～ 9
2009	10	10 ～ 11	本事業場はコンクリート廃材等を粉碎処理して、砂利等に加工し、舗装材として出荷する事業場であり、被災者は、加工した砂利から異物を除去する作業に従事していた。被災者が作業場所内を移動していたところ、砂利等を出荷するためダンプ自動車への積載作業を行っていたトラクター・ショベルと接触し、左後輪にひかれた。	11709	10 ～ 29
2009	5	14 ～ 15	鉄筋コンクリート廃材から再生資材を製造する作業において、被災者は、プラントで小割りされた廃材から鉄筋を取り除くため、トラクター・ショベルが地面に広げた廃材から鉄筋を拾い集める作業に従事していたところ、廃材を広げるためにプラントから後進してきたトラクター・ショベルの左後輪にひかれた。	150102	30 ～ 49
2008	1	18 ～ 19	被災者は業務終了後、車の中に鍵をつけたまま施錠したことに気付き、ディーラーが来るまで駐車場で待っている際、倒れているところを発見され、死亡が確認された。直前に現場を通過したショベルカーのタイヤ及びバケットに血痕が発見されたため、通過した時刻等から当該ショベルカーにひかれた。	11001	50 ～ 99

2007	10	11 ～ 12	学校新築現場において車両系建設機械を用いて鉄板を移動させていた（つり上げによる作業）。この時、オペレーターが一時的に運転室から身を乗り出して安全確認を行ったが、操作レバーに服が引っかかり不意に機体が旋回して、被災者に鉄板が激突した。	30201	10 ～ 29
2007	9	17 ～ 18	被災者がストックヤードにてコンクリート等再生骨材の中に混入しているプラスチック等の異物を取除く作業を行っていた際、車両系建設機械により骨材のかき揚げ作業を行っていたオペレーターが被災者に気付かずバケットで被災者を押し倒したまま再生材に押し付けさらにその上からバケット内の再生材をかけ埋めてしまった。被災者は自力で這出しその後病院へ搬送されたが死亡した。	80109	1～ 9
2007	5	16 ～ 17	2台のドラグ・ショベル（1台はクレーン機能付き）を使用して土嚢の撤去作業及び河川部の整地作業を行っていた。土嚢の撤去作業の手元作業していた被災者が移動した際に整地作業用のドラグ・ショベルの死角に入り、ドラグ・ショベルが移動した際にひかれた。	30107	1～ 9
2006	4	11 ～ 12	採石場構内通路（斜路）において、被災者が運転する4 tトラックが構内通路の斜路を上っていたところ、上方から下ってきたトラクター・ショベルと正面衝突し、トラクター・ショベルのバケットが4 tトラックの運転席を押しつぶした。	20201	10 ～ 29
2006	1	10 ～ 11	被災者は、採石場内で土砂の積込みを終えたダンプトラックの荷台の土砂をスコップを使い押し固めていたところ、方向転換のために後退してきた採石作業に従事するトラクター・ショベルのカウンターウエイト部分とダンプトラックとの間に挟まれ、死亡した。	30106	1～ 9
2005	10	15 ～ 16	国道交差点改良工事において、歩道の仮舗装のため、ダンプトラックが碎石を降ろした箇所でトンボにより整正していたところ、直ぐ横で整地業務を行っていたドラグ・ショベルが後進してきて、被災者と接触した。	30106	30 ～ 49
2005	3	4 ～	産業廃棄物中間処理を行う工場内において、廃棄物の第1次仕分け作業終了後、第2次仕分け作業を行う残渣をトラクター・ショベルにより収集作業	150102	50 ～

		5	中、後退してきたトラクター・ショベルにひかれた。		99
2004	7	11 ～ 12	下水道工事に伴う測量の補助作業において、中腰の姿勢で測量のためのピン ～ 12 を持っていた被災者が、背後から後退してきたドラグ・ショベルの排土板で 押し倒された。	30110	10 ～ 29
2004	12	13 ～ 14	リサイクルセンターにおいて、ダンプカーの荷台に積まれたアスファルト合 材をおろす作業をダンプカーの荷台の後方で行っていたところ、廃材運搬の ために同リサイクルセンター内を走行していたトラクター・ショベルに激突 された。	40301	10 ～ 29
2004	11	14 ～ 15	整地していたブル・ドーザーが、隣接現場のキャリアカー（不整地運搬車） ～ 15 が前進してきたので、それを通過させようとバックした際、ブル・ドーザー の後方にいた被災者が、当該ブル・ドーザーにひかれた。	30107	10 ～ 29
2004	10	8 ～ 9	工事用道路の坂道を利用してドラグ・ショベル（機体重量6t）を車両積載形 トラッククレーン車（最大積載過重4t）に積み込んだ後、車両積載形トラッ ククレーン車のアウトリガーを戻していたところ、突然、車両積載形トラッ ククレーンが下り坂を下りはじめ、約12m逸走したところで坂道から転落、 その衝撃で車両積載形トラッククレーンの荷台からドラグ・ショベルがずり 落ち被災者に激突した。	30199	10 ～ 29
2004	2	8 ～ 9	修理のためトラクタ・ショベルのバケットを最上部まで上げて油圧ホースの ～ 9 点検中、バケットアーム上下用シリンダーの油圧ホース2本を抜いたため急降 下したバケットアームに激突された。	11702	1～ 9
2003	10	7 ～ 8	砕石プラントにおいて、トラクター・ショベルで10tダンプに砂利を積込み移 ～ 8 動しようとしていたところに、トラクター・ショベルがバケットを地上から 2mほど上げた状態のままダンプに向かって前進してきて激突された。	40301	10 ～ 29
2003	9	11 ～ 12	赤松の皮むき作業において、ホイール・ローダーで皮むきが終わった木材の ～ 12 寸法を測定したのち、ホイール・ローダーを車庫に入れるため、バックさせ たときに後方にいた者をひいた。	80109	10 ～ 29
			コンテナで搬入してきた輸入合金鉄石（袋詰め）を倉庫内に降ろすための準		

2003	7	8 ～ 9	備作業として、ショベルローダーを倉庫内にバックで進入させていたとき、倉庫内に停車していたフォークリフトに当たりそうになったので、フォークリフトの運転手が止めようとしたがショベルローダーの運転者が気付かず、ショベルローダーに激突された。	50101	10 ～ 29
2003	6	10 ～ 11	高速道路の取り付け道路工事で、ドラグ・ショベルで掘削した土砂を不整地運搬車に積んだ後に土捨場に向いかけたときに、後退して左旋回したドラグ・ショベルのカウンターウエイトが不整地運搬車の運転席に激突し、運転手が全身打撲を受けた。	30106	50 ～ 99
2002	11	10 ～ 11	市道の改良舗装工事の交通警備を行っていて、現場内を後退してきたブルドーザーの右後方のキャタピラーに轢かれた。	170201	10 ～ 29
2002	9	9 ～ 10	残土処分場で、敷地境界線部分に土手（盛土）を形成するため1人でブルドーザーを運転（前後進）していたが、2度目の後進途中で何らかの原因によりブルドーザーの排土板に激突された。	30199	10 ～ 29
2002	2	17 ～ 18	セメント粉体を入れたフレコンをダンプトラックに積み込むため、トラクター・ショベルにフレコン2袋を吊り下げて後進したところ、電話機（子機）で話しながら通行していた者を跳ねた。	40302	1～ 9
2002	6	10 ～ 11	敷地内の事務所から作業場に向って歩行中、コンクリートがらを山積みしたトラクターショベルが後進してきて、後部バンパーと激突して転倒したところを右後輪で轢かれた。	10909	1～ 9
2002	4	14 ～ 15	産業廃棄物の選別作業を行っていたときに、他の者がトラクター・ショベルを後退させたためトラクター・ショベルに巻き込まれた。	150102	10 ～ 29
2001	12	9 ～ 10	産業廃棄物処理施設において、トラクター・ショベルで木片・木クズ等を運ぶ作業をしていて、木クズを降ろすためバックしたとき近くにいた者を右後輪でひいた。	150102	10 ～ 29
		9	碎石場において、スコップを取りに行くためトラクターショベルの後方を横		10

2001	11	～ 10	切ったときに、後退してきたショベルの左後輪にひかれた。	10909	～ 29
2001	7	～ 11	工場敷地内でアルミインゴットの製品置場から工場に向かって歩いていたところ、廃材(アルミ缶)の整理作業に使用していたトラクターショベルがバックで走行してきてはねられた。	11109	10 ～ 29
2001	6	～ 15	回収した段ボール及び新聞紙をトラックで営業所まで運び、段ボールの荷崩れ防止に使用したロープを片付けしていたときに、他の労働者が運転するトラクターショベルがバックしてきてひかれた。	80109	1～ 9
2001	6	～ 11	ごみ処理施設にごみを捨ててに行った際、構内で作業をしていたショベルローダーにひかれた。	140201	1～ 9
2001	2	～ 12	産業廃棄物中間処理施設で持ち込まれた産業廃棄物の分別作業中に、バックで運転中のトラクター・ショベル(ホイール式)の右後輪に触れ転倒し頭部をひかれた。	150102	1～ 9
2000	7	～ 12	舗装工事現場内において、アスファルト舗装前にしゃがんだ姿勢でコンクリート壁に墨打ち作業をしているときに、後進してきたモーター・グレーダー(機体質量＝7.4t)の右後輪にひかれた。	30199	50 ～ 99
2000	10	～ 18	産業廃棄物中間処理施設において、トラクターショベルで搬入された産業廃棄物を木くず類・廃プラスチック類・その混合材の3種類に分別し、手作業で分類していて、手作業を行っていた者がトラクターショベルにひかれた。	150102	30 ～ 49
2000	1	～ 14	護岸工事現場で、測量作業をしていたを後進してきたドラグショベルがひいた。	30107	10 ～ 29
2000	10	～ 17	屋外ごみ分別作業場でドラグショベル、タイヤショベルとともにごみ選別作業をしていて、ドラグショベルの後方で待機していたところにタイヤショベル別の作業を行うため移動してきて待機していた者をひいた。	150102	10 ～ 29
		6	造林作業の現場において、カラマツの苗を布袋に入れてブル・ドーザーの後		10

2000	5	～	部に吊り下げて運搬作業中に、ブル・ドーザーを一旦停止させて降車したところ、ブル・ドーザーが逸走してひかれた。	60209	～
	7				29
1999	12	～	13 運転手交代のためトラクターショベルから降りて車輛置場から次の作業場へ 14 歩いて向かっていたところ、車輛置場からバックで出てきたトラクターショベルにひかれた。	20201	10 ～ 29
1999	12	9 ～ 10	汚水管理設工事現場において、ドラグ・ショベルでランマーを吊り、深さ約2メートルの掘削溝内におろそうとしたときに、ランマーが振れたので押さえようとしてドラグショベルに近づきショベルのバケットと矢板との間に挟まれた。	30110	1～ 9
1999	12	～	16 鉄筋コンクリートのビルの解体工事現場で、コンクリートのガラをドラグ 17 ショベルでダンプに積込後、ショベルの前面に堆積した積み残しのガラを整地するため後方に移動し法肩いっぱいショベルを停止させたところ法肩のガラが崩れてショベルが転倒し、アームの一部が近くで作業していた者の後頭部に当たった。	30201	1～ 9
1999	11	～	11 伐倒したをブル・ドーザーで運搬する作業において、20～25度の傾斜地にブルを停車させ中出した原木のワイヤーロープを外したときに、ブルが動き出したためこれを停止させようとブルに飛乗ったが振落とされひかれた。	60201	10 ～ 29
1999	10	～	8 砕石プラントにおいて、トラクターショベル(機体総重量23t)で原石ホッパーに原石投入後、左旋回をしながら後進したときに、進行方向で作業をしていた者を右後輪でひいた。	10909	1～ 9
1999	7	13 ～ 14	機体重量5.7トンのトラクターショベルで培養土を作るために材料を混ぜる作業中、たい肥の原料ヤードに移動するため約24メートル直進させたところ、進行方向の地面に座り込んで打合せをしていた者2名をトラクターショベルのバケットとタイヤでひいた。	11709	100 ～ 299
1999	6	14 ～ 15	14 廃材処理場内において、金属類の仕分け作業中に行方不明となったので探したところ、廃材の山の中で死亡していた。	30209	10 ～ 29

1999	2	11 ～ 12	団地駐車場の造成工事の前段階の作業として碎石を平らに馴らす作業をスコップで行っていたときに、後進してきたドラグショベルにひかれた。	30199	10 ～ 29
1999	2	11 ～ 12	土砂と鉄屑が入っている鉄箱をバックホーで吊り上げ隣のピットに移動中、立って操作していたオペレーターが座ったときに服がレバーに引っかかってアームが回転し、バックホールの近くに居た者を直撃した。	40301	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_31.htmlに戻る。